会報 むすび

創立四十五周年記念号

輝きある若き命へ、
伝えよう古の和

第32号
平成20年5月吉日
● 発行所 ●
栃木県青年神職むすび会
広報委員会
● 発行人 ●
小幡正之
● 印刷所 ●
伴印刷株式会社

目次

むすび会会長挨拶……1
創立四十五周年実行委員長挨拶……2
神道青年全国協議会理事挨拶……3
創立四十五周年記念大会
奉告祭……4
式典・講演・祝賀会式次第……5
記念講演……6
記念大会ピックアップ（写真集）……8
協賛芳名簿……9
むすび会四十五年間の歩み
歴代会長・副会長一覧……10
四十五年間の活動……11
平成十九年度むすび会事業報告……18
御田植祭、抜穂祭……19
祭式研修会……20
会員家族親睦会……21
一都七県神職野球大会……22
神職身分昇進祝賀会……23
その他（新潟県中越沖地震応急措置活動）……24
平成十九年度役員・幹事・正副委員長氏名……25
新入会員紹介……26
ご結婚・第一子誕生の紹介……27
遷宮委員会発足……28
広告協賛社……29

会長挨拶

栃木県青年神職むすび会
会長　小幡　正之

謹んで聖寿の万歳と皇室の彌栄をお慶び申し上げますとともに、神宮におかれましても諸祭儀恙なく齋行されておりますこと、慶賀に存じ上げます。

去る平成二十年三月十二日、宇都宮二荒山神社会館において、栃木県青年神職むすび会創立四十五周年記念大会を開催致しましたところ、栃木県神社庁関係各位のご臨席、諸先輩方、神道青年全国協議会の久富会長を始め執行部の皆様、関東地区一都六県の同志、そして、我がむすび会員が参集して、総勢百四十名での本式典が、かくも盛大に開催出来ましたこと、誠に有り難く、謹んで衷心より厚くお礼申し上げます。

また、当日式典に先立ち、午前中に栃木県神社庁神殿において、奉告祭を齋行致しましたことを、ここにご報告申し上げます。

本会四十五周年にあたり、常に本会の諸活動に、ご支援を賜っております関係各位に深く感謝申し上げますとともに、本会の発展のためにご尽力を頂きました先輩諸賢に深甚なる敬意を表する次第です。

諸先輩方は、県内の青年神職の間で、斯界の将来を思い「研鑽」の目的を以て、様々な意見交換、論議を経て昭和三十七年三月四日「むすび」を会の名称として取り入れ、発足を致しました。これは、全国の神道青年会のなかでも特異な名称であり、創立の精神を守ろうとするものと伺っております。その歴史ある本会も、四十五周年の佳節を迎えた訳であります。

今、我々神社界を取り巻く環境は、時代とともに変遷し、様々な諸問題も毎年発生していて、非常に困難な状況を迎えつつあると言っても過言ではありません。この時代に我々は、青年神職として何が出来るかを改めて考え活動を展開して行かねばなりません。

この二年間の任期中では、発足当時の先輩方の気概や多大なる苦労に思いを馳せ、神社神道を取り巻く各種の課題と真摯に向き合い、各自の神明奉仕や各社に有益となる活動を展開して参りたいと思います。

今期は「輝きある若き命へ、伝えよう古の和」をキャッチフレーズにキーワードには改めて「自己研鑽」を掲げております。混沌とした時代にあって、戦後教育を受けてきた我々の同世代以下の人々に固有の信仰や、日本の伝統文化の重要性を伝えて行くことは決して容易なことではありません。しかし、戦前の教育を受けて神社を護持してきた方々がこれから益々減少して行くなか、我が国の正しい歴史や祖先から守り継がれてきた日本精神を知らしめ、自分たちが果たすべき社会的役割の重さを再認識して、更なる研鑽を重ね会員一丸となって邁進して行きましょう。

青年神職という若さを武器に、将来を見据えた一分一秒単位の速やかな対応、確かな判断力が問われる時代です。先輩方の軌跡に恥じることの無いよう、斯界のため、地域やふる里のため、そして国のために汗をかきましょう。

今後とも、栃木県青年神職むすび会に対しまして、諸先輩皆々様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げ、ご挨拶と致します。

創立四十五周年を迎えて

栃木県青年神職むすび会
創立四十五周年実行委員長　香取　正義

この度の栃木県青年神職むすび会創立四十五周年記念大会が多くの方々の多大なる御協力により、盛大に開催できましたことを心より御礼申し上げます。

平成二十年三月十二日の午前十時より、栃木県神社庁の御神殿に於いて創立四十五周年記念奉告祭を執行し、先輩方より引き継いできたこれまでの感謝の念と今後の発展を御祈念申し上げ、午後の式典に臨みました。

式典では、栃木県神社庁役員、又県内神職の有志の方々、神道青年全国協議会久富真人会長をはじめとする役員の方々や、関東地区一都六県青年神職会役員・会員等総勢百数十名にもおよぶ方々の御臨席を賜り、従前にも勝る熱気と気迫溢れる式典となりました。記念大会特別講演は、栃木県出身の神職であります靖國神社前宮司湯澤貞先生を御迎えし、「靖國神社の諸問題」という題目にて御話し頂きました。創建の歴史から紐解く我々の文化に根差した神観念に基づく御祭神の意義と、諸外国への啓蒙に対する御苦労や世情による、止む無き参拝への制限等といった靖國神社が抱える問題の根深さを、御話し頂きました。その中で先生は、相容れられることの出来難し大きな隔たりが未だに解消できぬことを遺憾に思われ、終戦後六十年を迎え現在に生きる我々の手で英霊の神霊の為にも、靖國神社が神社として本来あるべき姿、人々の様々な思想や国家間の政治に利用されない、日本人として、誇るべき世のあらゆる人々との和をつなぐ神社とならんことを、述べられました。講演後、湯澤先生の御厚意により質疑応答の時間を設けて下さいまして、日々なかなか聞くことのできない質問や先生の真摯な御対応に会場一同、深い感銘を受けた次第であります。

靖國神社のみではなく、昨今の世界情勢には耳を疑う様な事象が多く発生しています。諸宗教の主は、それを憂い、平和を唱えておりまして、中でもチベット仏教のダライ・ラマ十四世は日本のみならず、世界中へ平和と協調を訴えていますことは、皆様の記憶に新しいところであると思われます。互いに手を取り合えず、価値観を共有できずにいる人々が、何と多いことでしょうか。聖徳太子は、その十七条憲法に「和を以て貴しとすべし」と記していまして『和』の大切さを述べられています。和とは単なる協調ではありません。仲の良い者同士が仲良くすることは容易いことでありますが、相手がどの様な人であっても其れを認め受け入れることこそが、我々日本人の持つその『和』なのではないでしょうか。四季折々の恵まれた自然に育まれ共生し、長い歴史と文化の中で培われた、日本特有の宗教であり文化ともいえる神道は、調和こそがその信仰の本質であります。歴史をつなぎ、地域や人々との和をつなぐことができるのは正に神社であります。その為にも、我々は皇室を敬愛し祖先より連綿と続く悠久の歴史を守り、心豊かな国づくりと世直しの為の更なる実践に努める所存であります。

今日まで支えて下さいました栃木県神社庁の役員をはじめとする県内神社関係者、又神道青年全国協議会・関東地区一都六県青年神職会の皆様方に心より厚く御礼申し上げ、創立五十周年に向けて会員一同心をひとつにして更なる発展と、神社神道の興隆の為に一生懸命努力致します。

創立四十五周年を迎えて

神道青年全国協議会
理事　伊原　弘之

むすび会は、戦後の荒廃した社会情勢の中で経済にようやく明るい兆しが見え始めた昭和三十七年に創立以来、本年で四十五周年の節目の年を迎えることが出来ました。これも偏に先輩諸賢の一方ならぬご苦労と、関係者の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げる次第でございます。

この四十五年の間には、創立当時から行われている栃の実学園の神棚祭及び慰問や創立十周年の記念事業でもありました、チャリティーショーや各種研修会の開催、他県の単位会との交流会、会報『むすび』の発刊など様々な事業が展開されてきました。特に会報『むすび』に関しては、平成十四年に開催された「第二回全国神社関係定期広報誌コンテスト」に於いて、関係団体広報紙部門で統理賞を受賞することが出来ました。

また、神青協の活動に於いて、昭和六十二年には神青協関東地区を主管に栃木県が担当し、中央研修会が「組織論」をテーマに開催され、会員各位が行うべきことを確実に実践し、会組織の充実を計り、会全体を盛り上げていく事はもちろんの事、神職として国家全体を確立していく事を中心に研修会が開催されています。

そして、神青協一都七県協議会の各種事業にも積極的に参加し、平成十七年には一都七県協議会の創立十周年の記念総会を栃木県主管で那須の地に於いて開催しております。この神青協一都七県協議会は、平成七年の六月に「一都七県連絡会」として、発展的な組織改革を達成すべく発会され、東京地区、関東地区が連携し時局に即応する活動を行って来ています。近年むすび会に入会された若い会員の方では、聞いた事の無いような話かと思いますが、今後の活動の中でむすび会の行事同様に、参加され様々な経験を積んで戴きたいと思います。

この四十五周年のテーマには、小幡会長が提唱されるように「自己研鑽」が掲げられております。私自身この一年は研鑽の出来た年となりました。今年の神青協の活動では国家主権を主題として、北海道は根室に於いて北方領土早期返還祈願祭の執行、沖縄県は波照間島での国家安寧祈願祭、夏期セミナーでの国防を考える研修会、島根県での竹島の日の式典参列など、今迄では経験出来なかった行事にも参加することが出来ました。次年度は神青協も創立六十周年を迎えます。各単位会の会員対象の行事も増えて参ります。皆で積極的に参加し「自己研鑽」に励んで戴きたく思います。

また、他県の神道青年会や地区の行事、式典などの案内を頂く場合があると思いますので、機会があればぜひ参加して戴きたいと思います。むすび会だけの行事を見るよりも、刺激を受けることが多くあると思います。更に過去に交流のあった単位会の先輩方からも当時の交流会について話を聞く機会が増えるかと思います。

今年、無事四十五周年を迎える事が出来ましたが、これを一つの通過点と考え、会員それぞれが「自己研鑽」に励み、資質向上をめざし会全体の底上げをして、来る五十周年に向かって邁進していきたいと思います。今後もご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

むすび会創立四十五周年記念大会

むすび会創立四十五周年記念大会

◇奉告祭

平成二十年三月十二日
午前十時より
栃木県神社庁神殿

（祭典奉仕者名）
斎主　香取　正義
副斎主　金子　立
祭員　金子　宗人
〃　葭田　真彦
典儀　佐藤　智則
伶人　大河原　肇
〃　櫻木　琢也
〃　渡辺　光司

◇奉告祭式次第

定刻　一同　着席
修　祓
斎主一拝
献　饌
祝詞奏上
玉串拝礼
撤　饌
斎主一拝

むすび会創立四十五周年記念大会

記念式典

午後二時
司会　荒川　千裕

一、開会の辞　新井和宏
一、神宮・皇居遥拝　小幡正之
一、国歌斉唱
一、敬神生活の綱領　田中教文
一、会長式辞　小幡正之
一、創立四十五周年記念事業経過報告　香取正義
一、来賓祝辞　栃木県神社庁 副庁長　助川通泰 様
神道青年全国協議会 会長　久富真人 様
栃木県神社総代連合会 会長　島田嘉内 様
むすび会歴代会長（四代）　提箸克之 様
一、来賓紹介
一、祝電披露
一、『神道青年の歌』『美はしき山河』合　唱
一、聖寿万歳　むすび会歴代会長（九代）　若松豊明 様
一、閉会の辞　野﨑正之

記念講演

午後三時四十五分
司会　岩松　史恵

演題『靖国神社問題の一側面』
講師　湯澤　貞（ただし）　先生

祝賀会

午後五時四十五分
司会　岩松　史恵

一、開宴の辞　小幡正之
一、会長挨拶　伊原弘之
一、神青協理事挨拶
一、来賓祝辞　栃木県神社庁 副庁長　人見昇三 様
一都七県協議会 会長　田村康雄 様
歴代会長（十五代）　星野芳典 様
歴代会長（五代）　黒川正邦 様
一、乾杯
一、祝宴
一、中締め　歴代会長（八代）　柳田耕太 様
一、閉宴の辞

むすび会創立四十五周年記念大会

記念講演

演題『靖國神社問題の一側面』

講師
湯澤　貞（ただし）先生
（前靖国神社宮司）

略歴

昭和四年九月十日　栃木県上都賀郡加蘇村（現鹿沼市）
上久我石裂（おざく）元県社　加蘇山神社宮司湯澤敬六の四男として生る
昭和三十二年三月　國學院大學文学部宗教学科卒業
同　年四月　明治神宮奉職
以後　権禰宜～禰宜に昇任
昭和五十三年～六十三年　栃木県鹿沼市加蘇山神社禰宜
加園八幡宮宮司兼任
昭和五十七年～平成五年　國學院大學文学部講師兼任
平成　二年　八月　明治神宮　禰宜　辞任
同　年　九月　靖國神社　禰宜　拝命
同　年十一月　靖國神社　責任役員　権宮司　就任
平成　九年　五月　靖國神社　代表役員　宮司（第八代）就任
平成　十六年　九月　靖國神社　宮司定年につき　退任

現在　靖國神社崇敬奉賛会　顧問
靖國會　総代
三潴修学院　院長
國學院大學瑞玉會　OB會會長監事
（財）神道文化會　監事
（財）俳人協会　会員
俳誌　若葉　同人　俳号　碧水
著作　句集『散る櫻』
やすくにの静かに仰ぐ櫻かな　碧水

むすび会創立四十五周年記念大会

講演内容

靖国神社は、昭和二十年神道指令により、宗教法人となった。政教分離政策により、国家を離れ、独立採算により合祀祭を行うようになった。

昭和五十三年、靖国神社はいわゆるA級戦犯の合祀を行った。一部雑誌では、この合祀を行ったことにより、これ以降昭和天皇が靖国神社をご参拝されなくなったと報じている。しかし、宮内庁によると昭和天皇は、靖国神社については私的にご参拝されているので、私的なご参拝については警備上問題があるため、おやめになられたとのことである。したがって、A級戦犯の合祀と昭和天皇並びに今上天皇陛下がご参拝をされなくなったことは、関係のないことである。

政治家の公式参拝についてであるが、近年では小泉元総理大臣や石原都知事が話題になったが、その公式か私的かが問われることとなったのは、三木内閣の時である。当時の法務大臣が靖国神社の参拝について私的なものと表現し、三木元総理大臣も昭和五十年に私的参拝を表明した。

昭和六十年、中曽根元総理大臣は、公式参拝することを表明した。これにより靖国神社参拝に関する懇談会が行われた。懇談会では、玉串を奉らない、修祓を行わない、本殿に上がらない等、宗教的なものを行わないような意見が挙がったが、修祓は記帳の際白幕を張りお祓いをし、本殿に上がることとなった。

小泉元総理大臣が総理になって初めての参拝のときは、当初八月十五日の予定であると言われていたが、八月十三日に未公表で突然参られたため、警察も混乱し、報道陣も間に合わず、記者会見も一時間以上も遅れることとなった。

裁判については、内閣総理大臣が靖国神社を参拝するのは、神社の責任であるというものがあったが、神社側の勝訴に終わった。現在は、霊璽から名前を消して欲しいなどの係争中の裁判がある。

質疑応答

問　八月十五日と例大祭とどちらに参拝したほうがよいのか。

答　神社としては例大祭のほうが重要である。八月十五日は終戦の日であるが、特に祭りを行っていない。

むすび会創立四十五周年記念大会

式典の様子

助川通泰副庁長祝辞

小幡正之むすび会会長式辞

香取正義実行委員長挨拶

聖寿万歳

堤箸克之四代会長祝辞

久富真人神道青年全国協議会会長祝辞

祝宴の様子

祝宴乾杯

式典司会の荒川会員

◆協賛芳名簿◆

	氏名
神社庁	
神社庁	宇河支部
	芳賀支部
	塩谷支部
	南那須支部
	北那須支部
	上都賀支部
	下都賀支部
	安佐支部
	足利支部
日光東照宮	
宇都宮二荒山神社	助川通泰
	阿部憲
	若松豊明
	柳田文司
	上野武男
	荒井和弘
	野﨑正之
	佐藤智則
	金子宗人
三祖神社	阿久津誠生
	阿久津喜大
八坂神社	葭田孝
	葭田真彦
	滝口貴史
	葭田容子
白鷺神社	上野喜則
護国神社	稲寿
	菅浩二
	加古英之
薬師寺八幡宮	小嶋教敬
高龍神社	福田光弘
中嶋神社	国友和弘
高龍神社	多田めぐみ
智賀都神社	外鯨泰子
栃木県神社庁	津田亮
大前神社	柳田耕太
	柳田耕史
	野澤功嗣
	寺内誉迪
大前恵比寿神社	加藤直人
千代ヶ岡八幡宮	堀口邦夫
天満宮	越口正一
鹿島神社	小幡正之
中村八幡宮	中里元彦
八雲神社	小堀真洋
今宮神社	金子立
喜連川神社	佐藤明子
塩竈神社	伊藤史展
津島神社	岩松史恵
温泉神社	人見昇二
	人見文治
乃木神社	星野芳典
	津田宏
	秋元亮平
大田原神社	宇賀神直人
黒磯神社	肥後哲也
日光二荒山神社	吉田健彦
	中鷹輝美
	金子宗生
	伊原弘之
	香取正義
	町井康祐
	佐藤洋誠
	稲葉成孝
	多田隆一

	氏名
	福田有宏
	山本喜道
古峯神社	石原敬士
	石原奈央子
	大河原肇
	鷹箸久志
	櫻木琢也
	渡辺光司
岩崎神社	田邉雅祥
瀧尾神社	増渕文男
今宮神社	下妻良夫
	福田財大
	下妻大介
賀蘇山神社	横瀬勝壽
	横瀬勝宣
日向神社	岡本俊和
瀧尾神社	田中教文
雄琴神社	黒川正邦
	黒川裕正
	黒川寧子
住吉神社	荒川濱子
	荒川千裕
星宮神社	小林靖
太平山神社	小林宣彦
	早乙女和弘
磐裂根裂神社	刀川治久
須賀神社	沼部博成
	橋口幸司
	沼部泰幸
神明宮	神山拓之
磐根神社	新井隆広
春日神社	大阿久岩貴
春日神社	板垣喜充
唐沢山神社	佐野正行
	佐野由希子
沼鉾神社	齋藤兵衛
八坂神社	宮田義丸
加茂別雷神社	八下田熙
伊勢神社	提箸克之
朝日森天満宮	永澤宣浩
八雲神社	櫻木理史
栃木県神社庁	女子神職会
神道青年全国協議会	9名
山梨県神道青年会	5名＋単位会
群馬県神道青年会	8名＋単位会
埼玉県神道青年会	10名＋単位会
神奈川県神道青年会	8名＋単位会
千葉県神道青年会	10名＋単位会
茨城県神道青年会	8名＋単位会
東京都神道青年会	6名＋単位会
広告協賛社	下野新聞社
	今村紙業㈱
	㈱阿部
	鈴木徽章工芸㈱
	㈱三愛工芸
	㈱民族工芸
	㈱神路社
	コクド環境㈱
	京都奉製㈱
	㈱高善装束店
	㈲モミヂヤ
	グリーン産商㈱
	㈱福生
	㈱石川工務店
	㈱長谷川製作所
	伴印刷㈱

歴代会長・副会長一覧

	会　長	副会長	副会長	年　　度
初代（一期）	横瀬 勝壽	荒川 本一		昭和３８～４０年
〃（二期）	横瀬 勝壽	荒川 本一		４１～４２年
２代	荒川 本一	提箸 克之		４３～４４年
３代	吉田 健彦	人見 昇三	小林 一成	４５～４６年
４代	提箸 克之	稲葉 久雄	黒川 正邦	４７～４８年
５代（一期）	黒川 正邦	矢野 忠弘	阿部　憲	４９～５０年
〃（二期）	黒川 正邦	矢野 忠弘	阿部　憲	５１～５２年
６代（一期）	阿部　憲	斎藤 兵衛	柳田 耕太	５３～５４年
〃（二期）	阿部　憲	柳田 耕太	阿久津誠生	５５～５６年
〃（三期）	阿部　憲	池田　清	重田 正美	５７年
７代	中麿 輝美	柳田 耕太	重田 正美	５８～５９年

８代	柳田 耕太	佐藤 元典	若松 豊明	４５～４６年
９代	若松 豊明	斎藤 芳史	寺内 俊彦	４５～４６年
〃（二期）	若松 豊明	上野 喜則	稲　　寿	平成元～２年
１０代	上野 喜則	柳田 文司	金子 宗生	３～４年
１１代	柳田 文司	稲　　寿	金子 宗生	５～６年
１２代	稲　　寿	加藤 直人	上野 武男	７～８年
１３代	加藤 直人	上野 武男	星野 芳典	９～１０年
１４代	上野 武男	星野 芳典	阿部 修一	１１～１２年
１５代	星野 芳典	菱沼 至広	人見 文治	１３～１４年
１６代	菱沼 至広	人見 文治	伊原 弘之	１５～１６年
１７代	人見 文治	伊原 弘之	小幡 正之	１７～１８年
１８代	小幡 正之	香取 正義	荒井 和宏	１９～２０年

栃木県青年神職むすび会 四十五年間の活動

三十七年三月四日　栃木県青年神職むすび会発会　（神社庁）

趣旨

現今の世状を鑑るに、青年神職の活動は余りにも停滞的にして、軌道発展の為に重大なる及ぼさんとするは、吾等の是とする処に非ず。然るに、将来における軌道の昂揚を憂い、吾等青年神職らが此処に立ち上がり、全国的組織の結成を成さんとするは早きに非ずして当然の責務なり。

然処、昨今同志賛同のもとに、県青年神職並にその他賛同者の地方組織を築き、時局の懇談研修を重ねつつ、全国組織結成への第一歩を踏み出さんとするは誠に意義あるものにして、将来に光明をなげるものと信ず。

依りて、かかる趣旨に賛同賜り、当会発足の為に絶大なる御高配を仰ぐものなり。

三十七年度　会長　横瀬勝壽（一代）

三十七年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

七月　講習会「易の理論と実際」長倉講師（神社庁）

九月　明治神宮、東京大神宮、都神青との野球大会（日光市）

三十八年度

三十八年四月　講習会「折口先生の神道観」矢島講師（神社庁）

五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

六月　刑務所大祓式（宇都宮市刑務所）

十月　講習会「日本刀のはなし」柴田講師（神社庁）

三十九年度

三十九年四月　一日　会報「むすび」創刊号発刊

五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

四十年度

四十年　五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

四十一年度

四十一年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

四十二年度

四十二年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

八月　神職子弟講習会

四十三年度　会長　荒川本一（二代）

四十三年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

四十四年度

四十四年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

四十五年度　会長　吉田健彦（三代）

四十五年五月一日　会報「むすび」第二号発刊

五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

四十六年度

四十六年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）

六月八日　創立十周年記念事業チャリティーショー（栃木県体育館）

八月二十五日　関東地区神社庁野球大会（千葉県）

四十七年二月　十日　建国記念日の丸運動県内巡回（県内）

四十七年度　会長　提箸克之（四代）

四十七年　六月十八日　刑務所大祓式（黒羽刑務所）

八月二十八日　関東地区神社庁野球大会（栃木県）

十二月十一日　第一回東京栃木神青親善ゴルフ大会（佐野市唐沢カントリークラブ）

四十八年度
四十八年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
八月　十七日　親睦ゴルフ大会（佐野市）
八月　十九日　全国氏子青年協議会創立十周年記念大会（国立京都国際会館）
三月三十一日　会報「むすび」第四号発刊

四十九年度　会長　黒川正邦（五代）
四十九年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
七月二十五日　全国野球大会（神宮球場）
八月　十九日　祭式講習会「ひとりで奉仕する雑祭式」

五十年度
五十年　五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
七月二十四・二十五日　一都七県神社庁親善野球大会（山梨県）
九月　七日～　サイパン島戦没者慰霊祭「兵庫神青と共同」
五十一年三月　十一日　神青協中央研修会（兵庫県神戸市）
三月三十一日　会報「むすび」第五号発刊

五十一年度
五十一年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
七月　十九・二十日　一都七県神社庁親善野球大会（明治神宮外苑総合グランド）
九月二十二・二十三日　式内社巡拝（栃木県内）

五十二年度
五十二年四月二十五日　会報「むすび」第六号発刊
五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
五月二十七日　歴代会長との懇談会（宇・二荒山神社）
六月二十八日　神社と社の杜を育てる運動「第四回」（大前神社ほか三社）
九月　九～十一日　創立十五周年記念事業「大和国古社巡拝」（奈良県）
九月二十一日　千葉県神青会との懇親会

五十三年度　会長　阿部　憲（六代）
五十三年四月　八日　会報「むすび」第七号発刊
九月　二十・二十一日　会員研修会　男体山登拝（日・二荒山神社）
九月二十四日　創立十五周年記念式典（神社庁）

五十四年度
五十四年九月二十四日　会員研修会　白根山登拝（日光白根山）
十二月　十日　山形県神青交歓会（鬼怒川温泉）
五十五年三月二～六日　パラオ諸島慰霊祭（パラオ諸島）

五十五年度
五十五年八月　六日　親と子の海水浴・茨城神青交歓会（茨城県大洗）
八月二十九日　第三回登拝祭奉仕　太郎山神社（太郎山神社）
八月　三十日　夏期研修会「神葬祭の実践」講師　阿久津喜生（日・二荒山神社）
五十六年三月八・九日　京都府神青交歓会・京都市内神社巡拝（京都府京都市）

五十六年度
五十六年六月　十一・十二日　京都神青交歓会・県内神社巡拝（日光・古峯・宇都宮）
七月　十・十一日　一都七県神社庁親善野球大会（神奈川県）
七月　十一・十二日　氏青全国大会（鬼怒川温泉）
八月二十六日　第四回登拝祭奉仕　大真名子山神社・小真名子山神社（大真名子山・小真名子山）
九月　一日　会報「むすび」臨時号発刊
十二月　一日　会報「むすび」八号発刊
五十七年二月　七日　北方領土の日　栃木県民大会参加（宇都宮）
二月　十一日　日本を守る県民大会　国旗パレード参加（宇都宮）

五十七年度
五十七年四月　十八日　日光二荒山神社男体山山頂鎮座千二百年奉祝大祭祭典奉仕（日・二荒山神社）
七月　十一・十二日　一都七県神社庁親善野球大会（神奈川県）
八月二十四～二十七日　京都名社巡拝研修旅行（京都府）
九月二十六日　日光二荒山神社登拝講社青年部結成二十周年記念大会（日光）

五十八年度　会長　中鷹輝美（七代）
五十八年六月　十五日　研修会「神社経理」「緑化推進」（神社庁）
七月　十一日　一都七県神社庁親善野球大会（山梨県）
七月二十六日　親子の日帰り海水浴（茨城県阿字ヶ浦）
八月二十七・二十八日　第五回登拝祭奉仕　女峰山神社・赤薙山神社（女峰山・赤薙山）
十二月十五日　むすび会創立二十周年記念大会（栃木県神社庁）
五十九年三月三十一日　会報「むすび」第九号発行

五十九年度
五十九年四月　二十日　定例総会・研修会「神社と社」（栃木県神社庁）
八月　十日　家族慰安旅行（東京　船の科学館）
九月　六・七日　夏期研修会「禊鎮魂行法」（古峯神社）
六十　年一月二十四日　むすび会会旗入魂式（栃木県神社庁）

六十年度　会長　栁田耕太（八代）
六十年　六月　三十日　会報「むすび」第十号発刊
七月　四・五日　第二回神道行法研修会（古峯神社）
十月　七日　国旗掲揚運動（県北）
六十一年二月　十一日　建国記念奉祝パレード（宇都宮市）
三月三十一日　会報「むすび」第十一号発刊

六十一年度
六十一年九月　十七日　登拝祭奉仕並神道行法「男体山登拝」（中宮祠）
九月二十九日　緑化推進活動「枝打ち及び間伐実習」（村桧神社）
十二月　六日　大麻頒布奉仕（宇都宮市）

六十二年度　会長　若松豊明（九代）
六十二年六月二十二日　植樹奉仕（県南支部六社）
六月二十五・二十六日　一都七県神社庁親善野球大会（千葉県成田市）
九月四・五日　夏期研修会（日・二荒山神社）
九月　十七・十八日　登拝祭奉仕並神道行法「男体山登拝」（中宮祠）
十月　五日　会報「むすび」第十二号「創立二十五周年記念号」発刊
六十三年三月　十六日　むすび会創立二十五周年記念大会（宇・二荒山神社）

六十三年度
六十三年六月二十三日　一都七県神社庁親善野球大会（栃木県）
六月二十七日　植樹奉仕（県北支部七社）
九月二十一・二十二日　夏期研修会　仲秋登拝祭（日・二荒山神社）
十月　一日　会報「むすび」第十三号発刊

平成元年度
元年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
六月　一日　会報「むすび」第十四号発刊
七月　三・四日　一都七県神社庁親善野球大会（神奈川県）
七月　七日　植樹奉仕（県央四社）
八月　十日　家族会（東武動物公園）
十月二十三日　即位の礼署名運動（宇・二荒山神社）

平成二年度
二年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問(佐野市)
七月二十五・二十六日　一都七県神社庁親善野球大会(群馬県)
八月二十三日　家族会(伊豆大島)
十月　五日　御大典記念植樹(県全域)
十月　八・九日　夏期研修会(古峯神社)
十一月二十八日　街宣活動(宇・二荒山神社)
三年　二月十一日　建国式典(宇都宮)

平成三年度　会長　上野喜則(十代)
三年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問(佐野市)
六月　十三日　植樹祭(県内四社)
八月　一日　会報「むすび」第十五号発刊
八月二十一日　家族会(ピューロランド)
九月　十六日　喜田川宮司と語る会(日光)
九月二十一日　夏期研修会　県外観察　大杉神社・千勝神社(茨城県)
十二月　二日　神宮大麻頒布及び遷宮啓蒙活動(宇・二荒山神社)
十二月十六日　柳田宮司と語る会(那須)

平成四年度
四年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問(佐野市)
六月　八日～十二日　創立三十周年記念　海外宗教視察　「タイを訪ねて」(タイ)
八月　一日　創立三十周年記念　神道啓蒙ビデオ「神棚のまつり方」完成
八月　十七・十八日　創立三十周年記念「親子みそぎと日光の自然を訪ねて」(日光)
五年二月　十一日　建国記念パレード(宇都宮)
二月　十二日　創立三十周年記念　「とちぎの神社めぐり」出版
二月二十二日　創立三十周年記念式典(宇都宮)
二月二十五日　チャリティー益金贈呈式(佐野市栃の実学園)

平成五年度　会長　柳田　文司(十一代)
五年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問(佐野市)
五月　三十日　会報「むすび」第十七号「創立三十周年記念号」発刊
六月二十四日　皇太子殿下御成婚記念植樹
八月　十七・十八日　他県神社視察並家族会
九月　二日　青少年教化育成研修会
十月　十五・十六日　神宮　初穂曳奉仕(伊勢市)
十二月二十三日　神宮大麻啓蒙活動

平成六年度
六年五月　十日　会報「むすび」第十八号発刊
五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問(佐野市)
六月　十日　植樹祭
六月二十八日　ビデオ「地鎮祭のすすめ方」撮影
七月　七・八日　一都七県野球大会
八月　十日　他県神社視察並家族親睦旅行
八月　十九・二十日　教化委員会教化育成部門合同研修
十月　十四日　神社庁大麻頒布始祭(栃木県神社庁)
七年二月　十一日　建国記念パレード(宇都宮)
三月三十一日　会報「むすび」第十九号発刊

平成七年度　会長　稲　寿（十二代）

四月二十八日　植樹祭（護国神社他三社）
五月二十五日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
六月　十八日～二十三日　海外宗教視察研修会（ハワイ）
八月　十五日　大東亜戦争終結五十年追悼式（護国神社）
八月　十八日　大東亜戦争終結五十年靖国神社正式参拝と家族親睦会（靖国神社・上野動物園）
九月　二日　栃木県神社氏子青年会ソフトボール大会（宇都宮市屋板球場）
十二月　四日　神宮大麻啓蒙活動（宇・二荒山神社）
十二月　四日　昇進・昇級祝賀会並びに忘年会（那須温泉）
八年二月　十一日　建国記念パレード（宇都宮）
三月三十一日　会報「むすび」第二十号発刊

平成八年度

八年五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
七月　二日　創立三十五周年記念　武蔵野陵特別参拝（武蔵野陵）
七月二十五日　会員神社祭典奉仕　天皇皇后両陛下特別参拝（護国神社）
八月　十一・十二日　創立三十五周年記念　神道行法研修会（日・二荒山神社）
十一月　九・十日　会員神社祭典奉仕（大前神社）
十二月　四日　神宮大麻啓蒙活動（宇・二荒山神社）
九年二月　十一日　建国記念パレード（宇都宮）
三月　十一日　創立三十五周年記念式典（護国神社）
三月三十一日　会報「むすび」第二十一号発刊

平成九年度　会長　加藤直人（十三代）

五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
六月　十六日～二十日　海外宗教視察研修会（タイ）
八月　三日　栃の実学園地域交流事業　映画「学校」上映（佐野市）
九月　十六日　植樹（上都賀支部）
十年二月　十一日　建国記念パレード（宇都宮）
三月三十一日　会報「むすび」第二十二号発刊
四月　四日　他県神社視察並びに家族会（茨城県）

平成十年度

五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
六月二十六日　那須御用邸勤労奉仕（那須御用邸）
八月二十九日　栃木県北部豪雨災害現地情報収集、調査（県北）
九月　二日　栃木県北部豪雨災害現地支援ならびに情報収集、調査（県北）
十月五日　植樹（芳賀支部三社）
十一年二月二十一日　建国記念パレード（宇都宮）
三月　八日　他県神社視察並びに家族会（福島県田島）
三月三十一日　会報「むすび」第二十三号発刊

平成十一年度　会長　上野武男（十四代）

十一年五月　四日　乃木神社祭具収納小屋火災見舞（乃木神社）
五月二十一日　栃の実学園神棚祭及び慰問（佐野市）
八月　二十日　他県神社視察並びに家族会（靖国神社・浅草方面）
十月　二日　植樹（南那須支部）
十月　二日　お月見の会（宇都宮市）
十月　十八日　第三回一都七県神職野球大会（明治神宮外苑軟式グランド）
十二年二月　十一日　建国記念パレード（宇都宮）
三月三十一日　会報「むすび」第二十四号発刊

平成十二年度
五月二十六日　那須御用邸勤労奉仕(那須御用邸)
八月　二十四・二十五日　青少年教化育成研修会(日・二荒山神社中宮祠)
十月　十一日　第四回一都七県神職野球大会(明治神宮外苑軟式グランド)
十月二十三日　植樹(下都賀支部)
十三年二月　十一日　建国記念パレード(宇都宮市)
三月三十一日　会報「むすび」第二十五号発刊

平成十三年度　会長　星野芳典(十五代)
十三年五月二十五日　那須御用邸勤労奉仕(那須御用邸)
八月二十一・二十二日　神道行法・男体山登拝研修会(日・二荒山神社中宮祠)
九月二十一日　むすび会氏子青年会合同親睦ゴルフコンペ(矢板市)
十月　十五日　神宮　初穂曳奉仕(伊勢市)
十月二十三日　植樹(下都賀支部)
十四年三月二十五日　鎮守の森からのメッセージ第二回　神社関係定期広報誌コンテスト表彰式総理賞受賞(神社本庁)
三月三十一日　会報「むすび」第二十六号発刊

平成十四年度
十四年四月二十八日　雅楽チャリティーコンサート(護国神社)
五月　七日　御田植祭(南那須町)
五月二十一日　栃の実学園開園記念式典(佐野市)
五月二十七・二十八日　三県合同青少年育成行法研修会(茨城県大洗海岸)
九月二十六日　抜穂祭(南那須町)
十月　十五日　神宮　初穂曳奉仕(伊勢市)
十月　十七日　植樹(栃木県神社庁)
十五年二月二十一日　創立四十周年記念大会(宇・二荒山神社)
三月三十一日　会報「むすび」第二十七号発刊

平成十五年度　会長　菱沼至広(十六代)
十五年四月二十八日　雅楽チャリティーコンサート(護国神社)
五月　七日　御田植祭(南那須町)
五月二十一日　栃の実学園神棚祭(佐野市)
八月　十八日　会員家族親睦バーベキュー・魚釣り(藤原町上三依)
十月　二日　抜穂祭(南那須町)
十月　八日　第七回一都七県神職野球大会(明治神宮外苑軟式グランド)
十月　十五・十六日　神宮　初穂曳奉仕(伊勢市)
十六年二月　十一日　建国記念の日奉祝式典(宇都宮市)
二月　十九日　栃木県神社庁　本殿遷座祭奉仕(神社庁)
三月三十一日　会報「むすび」第二十八号発刊

平成十六年度
十六年四月二十八日　雅楽チャリティーコンサート(護国神社)
五月　十三日　御田植祭(南那須町)
五月　十九日　教養講座　パソコン勉強会(宇・二荒山神社)
五月二十一日　栃の実学園神棚祭(佐野市)
八月　五日　教養講座　マーケティング勉強会(宇・二荒山神社)
八月　十八日　会員家族親睦バーベキュー・魚釣り(藤原町上三依)
十月　一日　抜穂祭(南那須町)
十月　十五・十六日　神宮　初穂曳奉仕(伊勢市)
十一月　八日　福島神青交流会　野球大会(矢板市泉運動場)
十七年二月　十一日　建国記念の日奉祝式典(宇都宮)
三月三十一日　会報「むすび」第二十九号発刊

平成十七年度　会長　人見文治（十七代）

十七年五月　十日　御田植祭（南那須町）
五月　十九日　教養講座　パソコン勉強会（宇・二荒山神社）
五月二十一日　栃の実学園神棚祭（佐野市）
六月　八・九日　神青協一都七県協議会創立十周年記念総会（那須町）
七月　七日　教養講座　パソコン勉強会（宇・二荒山神社）
八月　八日　会員家族親睦バーベキュー・魚釣り（藤原町上三依）
九月二十九日　抜穂祭（南那須町）
十八年二月　十一日　建国記念の日奉祝式典（宇都宮）
三月三十一日　会報「むすび」第三十号発刊

平成十八年度

五月　九日　御田植祭（南那須町）
五月　十九日　教養講座　パソコン勉強会（宇・二荒山神社）
五月二十一日　栃の実学園神棚祭（佐野市）
八月　十一日　会員家族親睦バーベキュー・魚釣り（藤原町上三依）
八月二十九・三十日　文化・伝統研修会（日・二荒山神社　中宮祠）
九月二十九日　抜穂祭（南那須町）
十九年二月　十一日　建国記念の日奉祝式典（宇都宮）
三月三十一日　会報「むすび」第三十一号発刊

平成十九年度 栃木県青年神職むすび会事業報告

（平成十九年）

四月　二日　新旧会長役員改選につき庁長へ挨拶　栃木県神社庁
四月二十四日　第五十九回　神道青年協議会定例総会　神社本庁
四月二十五日　第一回役員・幹事・正副委員長会議　宇・二荒山神社
四月二十八日　県内神社例祭　会員奉仕　栃木県護国神社
五月　十四日　御田植祭　那須烏山市志鳥
五月二十一日　栃の実学園開園記念式典　栃の実学園
六月　四日　氏青むすび会ゴルフコンペ　ニューセントラルＧＣ
六月　五日　相談役会　宇都宮市内
六月　十二日　那須御用邸勤労奉仕　教化委員会合同　那須御用邸
六月　十二・十三日　一都七県協議会定例総会　箱根　十五名参加
六月　二十日　祭式研修会　栃木県神社庁
六月　二十日　第二回役員・幹事・正副委員長会議並に創立四十五周年実行委員会会議　神社庁
八月　九日　新潟中越地震応急措置活動　新潟県　二名参加
八月二十一日　むすび会会員家族親睦会　日光市上三依　三十七名参加
八月二十二日　式年遷宮奉賛会　栃木県本部　設立総会　神社庁
八月二十七・二十八日　神青協夏期セミナー　神社本庁　二名参加
九月　四日　第三回役員・幹事・正副委員長会議並に創立四十五周年実行委員会会議　宇・二荒山神社
九月　十九日　栃木・福島・宮城、野球交歓会　福島県郡山市
十月　二日　野球大会親睦練習試合　日光市
十月　四日　抜穂祭　那須烏山市志鳥
十月　十二日　第十一回神職野球大会　神宮外苑　十三名参加
十一月下旬から十二月初旬　神宮奉賛活動
十一月二十七日　第四回役員・幹事・正副委員長会議並に創立四十五周年実行委員会会議　栃木市太子館
十二月二十七日　神職身分昇級祝賀会　栃木市太子館

（平成二十年）

一月二十二日　第五回役員・幹事・正副委員長会議並に創立四十五周年実行委員会会議　宇・二荒山神社
二月　十一日　「建国記念の日」記念式典　宇・二荒山神社
二月二十一日　創立四十五周年全体会議　宇・二荒山神社
二月二十一日　新年会　和民
三月　四・五日　神青中央研修会　千葉市美浜区　八名参加
三月　十二日　むすび会創立四十五周年記念大会　宇・二荒山神社

御田植祭・抜穂祭

むすび会研修委員では、当会会員であります、滝口貴史さんの御実家より御神田をお借りしまして、五月十四日に「御田植祭」を、また十月四日には「抜穂祭」を行いました。

斎主に香取副会長をたて、「御田植祭」では豊穣の祈りを、「抜穂祭」では収穫の感謝を祝べ、小幡会長を筆頭に会員賑々しく田植え・稲刈りを奉仕しました。刈り取りました稲穂は、伊勢神宮へ「神嘗祭懸税」として御奉納致しました。

稲に限らず作物の成長には豊かな水と土が必要不可欠であります。潤い溢れる水は天からの恵みであり、ふんだんな養分を含む肥沃な土は地からの恵みであります。故に食物は天地の賜物でありまして、取り分け稲は頭の垂れる様子から「大地の毛」とも呼ばれ、毛は「ケ」「カ」に通じまして正に稲は豊穣の証しであり、象徴と言えます。山と緑は、そこに暮らす我々を大いなる意で包みこみ、限りない恵みを与えてくれます。豊かな稲の実りを通じ、その畏き意にただ感謝する次第であります。

（研修委員長　町井　康祐）

祭式研修会

六月二十日、栃木県神社庁に於いて、祭式研修会が行われました。祭式研修会は各支部ごとに行われていますが、むすび会主催としては初めてのこととなります。講師には当会十一代会長を務められた柳田文司先生をお迎えし、参加した二十六名の会員が祭式並びに有職故実を学びました。

研修は、午前中は基本動作についての確認をし、午後は大祭式に則り実演形式での演習と正服などの着装について行われました。

開始直後は笑いが多く和気あいあいと進みましたが、次第に質問や意見が活発になり、予定終了時刻を延長して行う程でした。奉職神社における作法以外の作法については、ついおろそかになりがちですが、細かい動きでさえも熱心に学び、更に深く追求する姿が見られました。

祭式は、神社で奉仕する私たちにとりまして、基本的なことであります。これからも神様に対して失礼の無いよう、今回の研修を糧に神明奉仕の努めたいと思います。

（広報委員　中里　元彦）

会員家族親睦会

平成十九年八月二一日、日光市上三依にて、恒例となりました会員家族親睦会を開催致しました。

当日は天候も良く気温も充分で、会員家族三七名にご参加頂いて、賑やかな一日を過ごしました。

子供達は塞き止めた川の浅瀬で鱒の掴み取りをしたり、釣堀で釣りを楽しんだり、またスイカ割りやバーベキューをしたりで、自然の中で思い出に残る一日を過ごせた事と思います。また、普段なかなか家族サービスが出来ない会員も、この日は父親としての役割を果たせたのではないでしょうか。

ご参加頂きました会員の皆様方には厚く御礼申し上げます。また今後も親睦を深めるべく、事業開催の際は、皆様のご参加・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

（広報委員長　刀川　治久）

一都七県神職野球大会

第十一回一都七県神職野球大会が、平成十九年十月十二日、神青協一都七県協議会主催、神奈川県神道青年会主管にて、明治神宮外苑軟式グランドにて行われました。

当日は天候にも恵まれ、絶好の野球日和となり、小幡会長を始め十七名にて大会に出場致しました。開会式の国歌斉唱、星野先輩の来賓挨拶時には、参加者全員気持ちを引き締め、試合に臨む事ができました。

試合の結果は残念ながら、トーナメント一回戦で群馬県チームに四対三という僅差で敗れましたが、後の親善試合は、埼玉県Bに七対十一、神奈川県Bに十二対十三、千葉・茨城県に〇対二と三戦全勝し、トータル三勝一敗という近年にない好成績を残す事ができました。この成績は大会前に、福島県において宮城県・福島県青年神職会と、また日光にて地元チームとの練習試合を行うことによって、ボールの感覚にも慣れチームの連携が良かった結果だと思われます。

トーナメント決勝戦の埼玉県A対神奈川県Aの試合は、守備でのダイビングキャッチや、走塁でのヘッドスライディングなど、気迫あふれるプレイで双方とも譲らず、緊迫した試合展開で見ていた私達も手に力が入る素晴らしい試合でした。勝敗は、埼玉県Aが神奈川県Aを六対三でふりきり三大会ぶり、三度目の優勝を飾りました。

野球に限らずスポーツは楽しむ事、そしてチームワークが肝心です。ミスをしても助け合い仲間を信頼する事が重要となります。少子高齢化が進む今、隣近所との付き合いも薄れ、他人とは係わり合いを持ちたくないといった家族が増えています。また、子供達は塾や習い事に追われ、外に出て友達と遊ぶ機会が減ってしまい、他人と上手く接する事のできない子供が増えていると聞きます。今後は多くの人に野球などのスポーツを通じて、現代社会に薄れ掛けてきている、助け合いの心、仲間を思いやる気持ち、そして自然を慈しむ心を養って頂きたいと心から願います。

（広報委員　稲葉　成孝）

一都七県神職野球大会

栃木・福島・宮城・野球交歓会

神職身分昇進祝賀会

平成十九年十一月二十七日（火）栃木市柏倉町の柏倉温泉太子館にて、むすび会主催の『平成十九年度神職身分昇進祝賀会』が行われました。昇進されました方々は左記の通りです。

（神職身分二級上）
北那須支部　三島神社　宮司　大野　房麿　様
安佐　支部　星宮神社　宮司　新村　貢一　様
足利　支部　八雲神社　宮司　櫻木　宏紀　様

（神職身分二級）
芳賀　支部　八雲神社　宮司　小堀　修一　様
上都賀支部　根裂神社　宮司　永田　弘幸　様
下都賀支部　三宮神社　宮司　小林　靖　様
安佐　支部　鷲宮神社　宮司　戸賀崎直道　様
下都賀支部　鷲宮神社　宮司　菱沼　至広　様

今年度は、昇進された櫻木宮司・小林宮司にもご参加を頂きました。また、例年祝賀会を通して、会員間の親睦をはかる事も事業目的一つとしており、懇親の席では、櫻木・小林両宮司を始め、会員同士お酒を交わしながら近況報告や、日頃疑問に思う事などの意見交換等を行い、夜遅くまで大変有意義な時間を過ごしました。

一泊二日の長丁場ではありましたが、昇進されました両宮司を始め、多くのむすび会会員の皆様に、ご参加頂き『祝賀会』を開催出来ました事、心より感謝致します。

親睦副委員長　大阿久　岩貴

新潟県中越沖地震 応急措置活動

多くの被害をもたらした新潟県中越沖地震から三週間ほど経った八月九日、被災地で神社の応急措置活動に、むすび会々員として参加奉仕させていただいた。今回の活動は、全国の神道青年会から集まった会員が数班に分かれて、神社境内設備の破損物や倒壊物の片付けなどをするものであった。

私が所属した班は、柏崎市内の神社三社での活動だったのだが、そのうち一社は御社殿が倒壊し、あとの二社も大きく傾いていた。また、灯籠は倒れ、参道を塞ぐように鳥居が崩れていた。まるで地震の直後から時間が止まったままのようで、この状況にはたいへんな衝撃をうけた。

我々班員約二十名は、境内で大祓詞を奏上してから作業を開始した。倒れた鳥居や玉垣の石柱数百本を運んだり、屋根から落ちた大量の瓦を処理したりと、地道な作業が続いた。厳しい夏の日差しを受けながらの慣れない力仕事だったが、みんな真剣に取り組み、この度の応急措置は無事に終了した。

今回我々が奉仕させていただいたことは本当に微力であったが、宮司さんをはじめ地元の氏子の方々からも心のこもった感謝の言葉をいただいた。

この活動を通して、改めて天災の恐ろしさを思い知るとともに、人々の心の拠り所として神社の存在が重要になってくるのだと実感した。

完全復興にはまだ多くの時間や労力がかかると思うが、一日も早い復興を心から願う。

（沼部泰幸・柳田耕史）

平成十九年度　むすび会役員・幹事氏名

〔役員〕

会長	小幡　正之	鹿島神社	宮司
副会長	香取　正義	日・二荒山神社	権禰宜
副会長	荒井　和弘	宇・二荒山神社	権禰宜
事務局長	佐藤　智則	宇・二荒山神社	権禰宜
庶務	滝口　貴史	八坂神社	権禰宜
会計	田中　教文	滝尾神社	禰宜
監事	宇賀神直人	大田原神社	宮司
監事	伊藤　史展	塩釜神社	禰宜
監事	沼部　博成	須賀神社	権禰宜
議長	野崎　正之	宇・二荒山神社	権禰宜

〔幹事〕

宇河支部	加古　英之	護国神社	権禰宜
宇・二荒山神社	金子　宗人		権禰宜
芳賀支部	小堀　真洋	八雲神社	宮司
塩谷支部	岩松　史恵	津島神社	禰宜
南・北那須支部	津田　宏	乃木神社	権禰宜
上都賀支部	福田　財大	今宮神社	権禰宜
日・二荒山神社	町井　康祐	日・二荒山神社	権禰宜
古峯神社	櫻木　琢也		権禰宜
下都賀支部	新井　隆宏	磐根神社	禰宜
唐沢山神社	永澤　宣浩	朝日森天満宮	宮司
安佐・足利支部	永澤　宣浩	朝日森天満宮	宮司

むすび会　四十五周年実行委員会・各種委員会氏名

〔四十五周年実行委員会〕

会長	香取　正義	日・二荒山神社	権禰宜
副会長	野崎　正之	宇・二荒山神社	権禰宜
事務局	滝口　貴史	八坂神社	権禰宜
会計	福田　光弘	高麗神社	禰宜

〔広報委員会〕

委員長	刀川　治久	磐裂根裂神社	禰宜
副委員長	福田　光弘	高麗神社	禰宜
副委員長	櫻木　琢也	古峯神社	権禰宜

〔研修委員会〕

委員長	町井　康祐	日・二荒山神社	権禰宜
副委員長	荒川　千裕	住吉神社	禰宜
副委員長	加古　英之	護国神社	権禰宜

〔事業委員会〕

委員長	阿久津喜大	三祖神社	禰宜
副委員長	佐藤　洋誠	日・二荒山神社	権禰宜
副委員長	葭田　真彦	八坂神社	権禰宜

〔親睦委員会〕

委員長	福田　財大	今宮神社	権禰宜
副委員長	早乙女和弘	太平山神社	権禰宜
副委員長	大阿久岩貴	春日神社	宮司

〔遷宮特別委員会〕

委員長	金子　立	今宮神社	宮司
副委員長	小堀　真洋	八雲神社	宮司
副委員長	金子　宗人	宇・二荒山神社	権禰宜

神道青年協議会役員

〔神道青年全国協議会〕

関東地区理事	伊原　弘之	日・二荒山神社	権禰宜

〔神青協一都七県協議会〕

事務局	柳田　耕史	大前神社	禰宜

新入会員紹介

下妻　大介
しもづま　だいすけ

住所…鹿沼市晃望台八－四
リブレ晃望台　A棟二〇六号室
生年月日…昭和53年11月21日
奉務先…今宮神社、権禰宜
趣味・特技…音楽鑑賞
座右の銘…温故知新
好きな異性のタイプ…笑顔が素敵な女性
これからの抱負など…視本年度、栃木県青年神職むすび会総会の折、諸先輩方の楽しくも貴重なお話に触れる事ができました。その節はありがとうございました。
　これからも神社界の発展に少しでも携わる事ができればと思っております。
　今後とも末永く、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

田邉　雅祥
たなべ　まさよし

住所…日光市岩崎二九〇－一
リブレ晃望台　A棟二〇六号室
生年月日…昭和59年1月13日
奉務先…岩崎神社、禰宜
座右の銘…あきらめは敵、あきらめずは素敵
好きな異性のタイプ…宮崎あおい
これからの抱負など…これからの抱負など・本年より、むすび会に入会させて頂きました。社会人としても神職としても、一人前と認めていただけるようになりたいと思っています。まだまだ右も左も分からない未熟者で、皆様にもご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導いただき、むすび会の一員として、尽力していきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

寺内　誉迪
てらうち　たかふみ

住所…真岡市荒町四－二八－二
シャトレー真岡F号室
生年月日…昭和59年6月19日
奉務先…大前神社、権禰宜
趣味・特技…サッカー、フットサル
座右の銘…初心忘るべからず
好きな異性のタイプ…一緒にいて楽しい人
これからの抱負など…これからの抱負など・私は物心がつく頃には、「大きくなったら神主になる」と宣言していました。こうして奉職する事ができた今、身の引き締まる思いです。まだ分からない事だらけの私ですが、先輩方にご指導をお願いし、多くの方と触れ合うことを通して、豊かな心と広い知識を身につけていきたいと思います。常に向上心を持ち頑張って参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

祝ご結婚

金子　宗人

奉務先…宇都宮二荒山神社

挙式日…平成20年3月3日

式場…二荒山神社・二荒山会館

新婦氏名…真理（まり）旧姓菅谷（すがや）

本人のコメント…夫婦相和して良き家庭を築いて参りたいと思います。未熟ではございますが、妻ともども宜しくお願い致します。

奥さんより一言　…この度はご祝福頂き、誠にありがとうございます。お互いに助け合いながら、幸せな家庭を築いてゆきたいと思います。

沼部　泰幸

奉務先…須賀神社

挙式日…平成20年3月15日

式場…須賀神社會館

新婦氏名…美穂（みほ）　旧姓板口（いたぐち）

本人のコメント…これから、より一層頑張りますので、皆様よろしくお願い致します。

奥さんより一言　…神社界に入り、不慣れな点も多々あるとは思いますが、頑張っていきたいと思います。

祝ご誕生

新井　隆宏

第一子氏名…新井かれん

生年月日…平成19年4月18日

親からの希望…元気一杯すくすくと育って欲しいです。

柳田　耕史

第一子氏名…柳田　耕基（こうき）

生年月日…平成19年6月22日

親からの希望…わんぱくでもいい、たくましく育ってほしい。どこかで聞いたことのあるフレーズですが、まさにその通りです。元気でおおらかな男になってください。

下妻　大介

第一子氏名…下妻史明（ふみあき）

生年月日…平成19年10月18日

親からの希望…元気に生まれてくれてよかったです。とにかく健康に育ってほしいと思う次第です。

遷宮委員会発足

第六十二回神宮式年遷宮という歴史的行事が五年後に迫り、栃木県青年神職むすび会としても、大御神さまの大御心の叶うような活動をしなければならない、ということでこの委員会が発足しました。

「遷宮で　むすぶ人の輪　心の輪」を標語に、神宮の意を体し、式年遷宮の心を守り伝えるために必要な行動を行い、以って国民総奉賛の実を挙げることを目的として、日々自己研鑽と啓蒙活動に尽力することが、神道青年全国協議会でも揚げられております。むろん、私どもむすび会遷宮委員会としても、同様の想いで一年間議論を重ねて参りました。神様にお仕えする神主として、当然のことながら会員ひとり一人の心は熱く、集まりを重ねるごとに議論は尽きませんでした。また、そんな中で特に議論が集中致しましたことは、神宮大麻の頒布に関することでした。都会化する地方都市での現状や、核家族化した世代のご家族における神棚の設置状況をいかにするべきか、神宮大麻の啓蒙活動を具体化にどのように行ったらよいか、などの実質的活動をはじめ、氏子側だけではなく神主側の遷宮に関する研修や、遷宮や大麻頒布活動の具体例集を作成するのもよいのでは、等々の話題が上がりました。その他にもたくさんの議論がなされ、遷宮までの五年の間に具体的に活動しながらも、委員内において、今後の啓蒙活動についてのさらなる議論の熟成が必要であるということになりました。

平成二十年度は、関係委員会と協力の上、啓蒙活動の一環として神宮大麻増体のための「ポケット手水」を具体化し、神主側の自己研鑽のために、伊勢神宮参拝研修を行う予定となっておりますので、会員の皆様方にはふるってご参加いただきますよう、お願いを申し上げます。

（遷宮委員長　金子　立）

式年遷宮に伴い、大麻頒布運動として
のぼりを頒布しております。

※のぼりについての
詳細は最終頁を
ご覧下さい。

広告協賛者一覧

◆ご協賛ありがとうございました◆

各授与品、記念品奉製

金襴綿守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー
●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
TEL 水戸 (029)251-2051(代)
FAX 水戸 (029)253-5844

営業品目
縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守
金襴綿守・各種熊手，守護矢・朱印帳

おまもりの奉製
株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県下都賀郡藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010 (代表)
FAX (0282) 62-2061

全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する
今村紙業株式会社
代表取締役 今村 力男
〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11
TEL 055(272)0514(代)
FAX 055(272)8818

営業品目
神具・祭具・鳥居・神棚・みこし・みたまや・御神木札
絵馬製作販売・御装束・授与品
神前結婚式場装備一式・やきもの全般・御守奉製

株式会社 民俗工芸

本 社／〒857-1162 長崎県佐世保市御本町17-2
TEL 0956-34-5500(代) FAX 0956-34-5511

御注文専用フリーダイヤル
TEL 0120-534-550 FAX 0120-872-550

Eメール info@minzoku.co.jp
ホームページ http://www.minzoku.co.jp

創刊130周年
下野新聞社

本社/栃木県宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686 TEL 028(625)1111(代)
http://www.shimotsuke.co.jp/
購読のお申し込みは
フリーダイヤル 0120-810081

御社頭授与品
御参拝記念品
立案調製

〈営業品目〉
●交通安全御守護
●開運招福鈴
●文鎮　金盃
●各種記念品類
●胸像・レリーフ・鋳造類

鈴木徽章工芸株式会社
〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL. 03-3814-1811 FAX. 03-3818-8332

社寺建築請負い

株式会社 石川工務店

代表取締役 石川恒雄

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地
TEL 0288-53-0408

麻・鈴緒・合繊α縄(注連縄)製造

有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387
http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/f-top

足袋・和装用品代理店

株式会社 福生

本社 〒761-8076高松市多肥上町61-1
営業所 〒590-0953堺市甲斐町東1-2-30
フリーダイヤル 0120-29-0068
フリーダイヤル 0120-29-0051
ホームページ http://www.tabiya.net/

祈りをかたちに

神社授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川 和夫

本社 〒114-0004 東京都北区堀船3-20-13 TEL 03-3912-6161(代表) FAX 03-3912-3131
草加営業所 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1
TEL 0489-21-1221(代) FAX 0489-21-1515

授与品奉製

株式会社 神路社

本社 三重県伊勢市岩渕2丁目5番29号(私書函第26号)
〒516-8611 電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110
IP電話 050-3536-5273
URL http://www.kamijisya.co.jp
E-mail info@kamijisya.co.jp

神苑 東京都渋谷区恵比寿1-11-1 エビス小林ビル21号
(東日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721
〒150-0013 IP電話 050-3539-3432
E-mail shinen_club@kamijisya.co.jp

ルーペ(文字拡大鏡)大好評!!

東京、神奈川、新潟、秋田、滋賀、鳥取の各神社庁で採用されました!!

飾って美しく、使っても便利。

デザインは、鳳凰・狛犬の2種類

特別価格 1,510円

~「チルダ」記号はシフトキーを押しながら日本語の「へ」を押すと出るよ!! Shift+へ

http://www5.ocn.ne.jp/~kokudo88/

↑↑詳しくはホームページでご覧ください↑↑
お気軽にご相談下さい(中林まで)

コクド環境株式会社
〒332-0032 埼玉県川口市中青木3-12-22
TEL (048)224-5253(代)
FAX(048)241-8256

即応 需要

クラフトマンシップに生きる
大いなる自信。
私たちの願いはいつも
あなたのそばにいる。

印刷は今、文明から文化へ。

B Printing A Company N
伴印刷株式会社
宇都宮市栄町6-10
TEL 028-622-8901 FAX 028-622-4525

神祭具・御装束・雅楽器類
結婚式場調度

(株)高善装束店

代表取締役 桑 眞一

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-2-9
TEL 03(5815)8771
FAX 03(5815)8772

環境にやさしい
おまもりをめざして

京のおまもり

京都奉製株式会社

〔東京営業所〕東京都足立区保塚町六―一四
電話（〇三）三八一―八―一四六一
〔フリーダイヤル〕〇一二〇―一六四―一二四

宮内庁
神社本庁・栃木県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場　御用達

株式会社 大槻装束店

東京・上野駅前

東京都台東区東上野３丁目17番９号
電話 03(3835)3201(代)
FAX 03(3835)0617
http://www.ootsuki-shozokuten.com

誠実と真心で奉仕する
御守・授与品・参拝記念奉製
御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

代表取締役　柚木　忠

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL　大阪（06）6702−6009番(代)
FAX　大阪（06）6797−5896番

CREATIVE AGENCY 総合広告会社

株式会社 下野社

下野新聞社専属広告代理店
栃木放送専属広告代理店
とちぎテレビ専属広告代理店
リビングマロニエ広告代理店

栃木県広告業協会会員

宇都宮市昭和1-7-9 下野ビル4F
TEL028-622-3993 FAX028-622-3933

栃木県青年神職むすび会　頒布品

着帯のお祝い
(安産祈願)　腹　帯

くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分(約3m)に裁断し高級感ある桐箱に納めました。中の帯は縦に二つ折にし、巻き納めてあります(解説書在中)

〈岩田帯〉

頒布価格(1箱)
¥1,000(送料別)

ご注文・お問い合わせ

〒320-0015　栃木県宇都宮市八幡台14-24
栃木県神社庁内　栃木県青年神職むすび会事務所　宛
電話 (028) 625-2011　FAX (028) 624-3217

編集後記

今回は節目となる創立四十五周年の記念号として、御多忙の中原稿を寄せていただきました皆様、また関係者の皆様方の御協力のもとに会報を発行できましたことを厚く御礼申し上げます。又、広告の協賛として、各社の皆様には、早々に御協賛を賜り心より感謝いたします。

少々気早いかとは思いますが、四十五周年の次なる五年後を考えますと、平成二十四年度は創立五十周年というむすび会にとって更に大きなひとつの節目を迎えます。また神社界においても伊勢の式年遷宮を直前に控えた特に重要な年でもあります。

過去の反省、今回四十五周年の経験、また今後一年一年の諸活動の積み重ねをもとに、「五十周年」をひとつの目標として研鑽し、一路邁進できればと思います。

（広報副委員長　櫻木　琢也）

広報委員会　氏名

委員長	刀川　治久
副委員長	福田　光弘
副委員長	櫻木　琢也
委員	管　浩二
委員	中里　元彦
委員	稲葉　成孝
委員	横瀬　勝宣
委員	櫻木　理史
委員	外鯨　泰子
委員	黒川　裕正

式年遷宮に伴い、大麻頒布運動として
のぼりを頒布しております。

通常価格
¥1,500

年度内価格

¥1,000(送料別)

〈サイズ：177×59cm〉

※ポールは扱っておりません。

ご注文・問い合わせ

〒320−0015
栃木県宇都宮市八幡台14−24
栃木県神社庁内
栃木県青年神職むすび会事務所　宛
電　話(028)625-2011 ＦＡＸ(028)624-3217